

## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス分野別講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。				
授業概要					
一般教養、楽器、半田製作、パソコン、音響、照明、PC等の、ライブハウスで働くのに必要なことを学ぶ。					
到達目標					
ライブハウスで働く上での総合的な知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	一般教養 ・ビジネスメールの書き方 ・尊敬語、謙譲語の使い方 ・社会人としての言葉の使い方 ・電話対応
【前期】 11～20回目	一般教養 ・言語コミュニケーション ・リフレーミング言葉 ・クッション言葉
【前期】 21～30回目	楽器知識 ・ライブハウスで使用される主な楽器についての知識 ・ドラムセットの名称や種類
【前期】 31～40回目	楽器知識 ・ギターの名称や種類 ・ベースの名称や種類 ・キーボードの名称や種類 ・その他楽器の名称や種類
【後期】 1～8回目	半田製作 ・ライブハウスで使用されるケーブルの製作 ・マイクケーブルについて ・スピーカーケーブルについて
【後期】 9～16回目	半田製作 ・TSフォンについて ・NL-4について
【後期】 17～24回目	音響 ・PAの授業で使用するデジタルミキサー以外を学ぶ。 ・ワイヤレスマイクについて ・1年次の応用についてx
【後期】 25～32回目	照明 ・ムービング照明の知識を補足 ・LEDライトの知識を補足
【後期】 33～40回目	パソコン ・エクセル、イラストレーターなどの応用
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給iPad・カラーマーカー・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス制作講座Ⅱ	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 全国のライブハウス現場で活躍し、多くの若手アーティストを発掘し世に送り出している。 自身もライブハウスを経営し今後の音楽シーンをより一層盛り上げていっている。				
授業概要					
ライブハウスでのイベントの準備(企画、ブッキング等)からイベント当日の進行等の業務全般について学ぶ					
到達目標					
ライブハウスにおける業務についての総合力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	300キャパのライブハウスでイベントの組み方 バンドの選び方、ブッキングの方法
【前期】 11～20回目	メールマナー、バンドのブッキング イベントのテーマイメージ作り
【前期】 21～30回目	イベントの概要作り バンドセット図の作り方(機材機種を細かく記載)
【前期】 31～40回目	タイムテーブル作成(全セクションが見やすく分かり易いもの)
【後期】 1～8回目	宣伝方法(より多くに伝達出来る方法) インパクトのあるフライヤー作り
【後期】 9～18回目	スムーズなイベント進行 舞台上の立ち位置(正確な図面)作成
【後期】 19～26回目	持込み楽器の確認(他バンドと混信しない様、ワイヤレス周波数の確認)
【後期】 27～34回目	バンドの転換時における楽器移動の仕方、有効スペースの使い方
【後期】 35～42回目	アーティストに対して、ケータリング含む楽屋の作り方
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給iPad・カラーマーカー・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クリエイティブPC講座Ⅱ	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
Dreamweaver、Illustrator等のソフトやHTML、CSSについて、より高い精度での操作と、より人に伝わるデザインについて学ぶ。					
到達目標					
PC作業における実践的な技術力の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	DreamWeaverを使用したWebサイトの仕組み、作り方。 HTML・CSSを使って実践的なサイト構築。
【前期】 11～20回目	Premiereを使用し、動画における基礎知識と動画編集の基本。 撮影プランを考え、撮影～編集までの工程。
【前期】 21～30回目	オリジナルのボードゲームを考案、作成。 パソコンで説明書からゲームに必要な全て素材を制作。
【前期】 31～40回目	フォントの扱い方。版面率とは。タイトルの見せ方/伝え方。 複数の画像の扱い方。裁ち落とし、角版、切り抜きの3つのスタイルの違い。 グリッドシステムの使い方。イキャッチの使い方。
【後期】 1～8回目	男性をターゲットにしたデザイン。 女性をターゲットにしたデザイン。 デザイン考察のまとめ。
【後期】 9～16回目	セット図の理解 整列設定の復習と応用。パスファインダーの使い方。
【後期】 17～24回目	ペンツールの復習と応用。パスのアウトライン。 回転、移動、複製など。ポイントにスナップ。
【後期】 25～32回目	変形ツールの扱い方。変形ツールで出来る編集内容。 変形ツールの扱い方。正確な値で図形を描く。尺貫法でのグリッド線の描き方
【後期】 33～44回目	学園のステージ図面を、実際に描いてみる(1/50の縮尺で)。 外部のステージ図面を、実際に描いてみる(1/70の縮尺で)。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給i-Pad持参
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウスPA実習Ⅱ	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:17年 大小のライブハウスや各種イベントなどでPAオペレーターとしての経験が豊富。 また多くのアーティスト専属オペレーターとして活躍中。				
授業概要					
デジタル機材の知識・技術を学ぶ。					
到達目標					
デジタル機材の取り扱い方法の習得。 ハコ(ライブハウス)専任OPとしての技術習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	M7CLの基本操作、音出し SM20の基本操作、音出し
【前期】 11～20回目	M7CL,SM20の分岐の説明、iPadの接続 2班分けてFOH、モニターの仕込み
【前期】 21～30回目	デジタルミキサーとアナログミキサーの違いについて ハウスとモニターの音作り
【前期】 31～40回目	スピーカーチューニングの仕方・ポイント 2班分けてFOH、モニターのチューニング
【後期】 1～8回目	企画ライブに向けた仕込み～チェック(FOH、モニターそれぞれ2回) サウンドチェックにむけて
【後期】 9～16回目	マイキング、EQ、サウンドチェックの進め方 サウンドメイキングの方法
【後期】 17～24回目	コンプレッサー ノイズゲート
【後期】 25～32回目	リバーブ ディレイ
【後期】 33～44回目	データ保管方法・その大切さ 企画ライブに向けたオペレーション作業(FOH、モニターそれぞれ2回)
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好(黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリは外す) 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス照明実習Ⅱ	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:12年 都内のライブハウスや各種イベントなどで照明オペレーターとして活躍 また様々なアーティスト専属オペレーターとして従事。				
授業概要					
イベントに向けての作業や機材の使い方に関する学内ホール機材を使用したデジタル機材の基礎学習。					
到達目標					
仕込みから卓の打ち込み、操作方法、オペレート等、ライブハウスの現場で必要な技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ホールについて ・照明視点からのホールについての説明 ・ホールの管理状況。
【前期】 11～20回目	Pearl卓 ・打ち込み方法から実践で活用する機能。 ・Spark卓と併用し操作を学ぶ。
【前期】 21～30回目	Spark卓 ・ムービングを繋ぎ、卓の操作方法と一般灯体と切り離れた状態でのオペレート。
【前期】 31～40回目	LED ・ブロックミニ ・RGBの光の三原色を基本に作るあかり作り。 ・機材と仕込み知識。
【後期】 1～8回目	ムービング照明 ・SPOTについて ・WASHIについて
【後期】 9～16回目	ムービング照明 ・Spark卓にてオペレート、pearl卓にて打ち込み操作方法。
【後期】 17～24回目	仕込み作業 ・脚立を使った高所作業とシーリングの昇降ボタンを使った仕込み。 ・安全に作業する為の脚立の建て方。 ・昇降ボタン操作。
【後期】 25～32回目	オペレート操作 ・企画、学内イベントでのオペレート。 ・就職に向けた幅広いジャンルのオペレート。
【後期】 33～40回目	オペレート操作 ・アドリブオペレート、自分の使いやすいあかり作成。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好(黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す) 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス実地演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布